

1 研究テーマ

「みなさん、楽しい音楽の時間ですよ！」から始まる音楽科学習を目指して
～児童・生徒が自ら音楽と関わり、知覚と感受を結びつけながら、表現や鑑賞
を深める支援のあり方～

2 研究内容

よりよい音楽科授業を目指して 【児童・生徒が自ら音楽と関わる授業改善】

① 音楽と出会い、自ら関わろうとする授業づくり

幼児教育や特別支援教育にも通じる視点を生かし、安心して音楽に出会い、
感じる・動く・聴く・表す活動を通して、自ら音楽と関わる授業を考える。

② 音楽表現における思いや意図の明確化と工夫

曲想や歌詞、旋律の動き等を手がかりに、表現への思いや意図を明確にする
とともに、教師がファシリテーターとなって比較したり試したりする中で、
一人一人が納得できる表現の工夫を見いだせるようにする。

③ 音楽の特徴と感じ取ったことを結びつける鑑賞の工夫

漠然とした感想にとどまらず、音楽の特徴と感じ取ったことを結びつけ、
自分なりに納得して音楽について語るができるようにする。

④ ファシリテーターとしての教師の役割

教師は正解を説明するだけでなく、児童・生徒の気づきや感じ方を引き出
し、ヒントや比較の視点を示しつつ、音楽との関わりを深める場をつくる。

⑤ 音楽科教員団体との連携による研究・研修の充実

「音楽科学習指導研究委員会」「上小音楽同好会」「長野県音楽教育学会上
小地区」の3者が連携し、授業研究や研修の在り方を検討する。全県の音楽
教育研究大会を契機として、日常の授業改善と研究研修の方向を考える。

3 予定

- (1) 令和8年5月 1日 第1回委員会
- (2) 令和8年6月 4日(木) 第2回委員会 第六中学校
- (3) 令和8年7月 日 第3回委員会 事前授業公開校
- (4) 令和8年8月 夏休み中 学習素材の研修会 兼音楽同好会
- (5) 令和8年9月 2日(水) 第4回委員会 音楽科全体会 丸子中央小
- (6) 令和8年10月 日 第5回委員会
- (7) 令和8年11月 日 第6回委員会 研究のまとめと来年度への方向
- (8) 令和9年1月8日 研究のまとめの提出